

酒とパソコンと少々のもろく

キャベツにうどんこ病が！

成光 昭男

インターネットのFacebookに「普及みやぎ」のページがあります。

「普及みやぎ」に植物の病害虫の記事が連載されているのですが、かなり専門的で、難しく感じることもあるのですが、園芸初心者の私にとっては貴重な情報源です。

例の研修生も、このページで病害虫のお勉強をしているようです。

彼女はこのページの記事を読み、病害虫の巣窟になっているだろうと思われる、農園のあちらこちらに茂っている雑草をきれいに駆逐し、ハーブを植え、農園の環境がすっきり、さわやかになり、ありがたいものです。

ところで、彼女は今年から、事務員兼農場作業員として、正規のスタッフとなっていますので、正確には、元研修生と呼ぶことになります。

その元研修生が、キャベツにうどんこ病が出ていると報告してきました。

実は、キャベツではなく季節外れの茎ブロッコリーなのですが、彼女は何故かキャベツと呼び、毎日虫を探して茎ブロッコリーと戯れていたのですが、何かいつもと違う変化が気になったようです。

これまで、あまり野菜の栽培に関心を示さなかった元研修生ですが、普段と違う状況に気が付くとは、とても良いことです。異変に早く気が付けば、これから出てくるトラブルを予防できたり、現に生じてしまったトラブルをいち早く改善できたりします。

しかし、キャベツのうどんこ病はあまり聞いたことがありません。浅い園芸経験ですが、これまで出会ったことがありません。

本当に病気が入っていたら大変です。季節外れの栽培ですので、病気が出てもおかしくはありません。さっそく農園で実物を確認しましたが、うどんこ病らしき症状はありませんでした。

ただ、葉の表面に確かに白い粉が付着しています。私にとっては、ごく普通の景色ですが、元研修生には、違った景色に見えたのでしょうか。葉に白い粉が一面に付いているのに驚いて、うど

んこ病と思ったようです。これまで野菜を注意深く見ていなかったことが露見してしまいました。

でも、笑ってはいけませんよ。普段意識していないことは、単純なことでも意外と気が付かないものです。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」だそうです。年を取ると「いまさら聞けない」ということもあります。わからないことは、積極的に聞くようにしたいですね。

ちなみに、この白い粉は「ブルーム」と言って、植物自身から出るもので、植物を乾燥や病気などから守るためのものですが、消費者から農薬と誤解されることもあるようです。

さて、牛飼いの皆様に簡単すぎるかも知れませんが、クイズを出してみましよう。普段、どれだけ乳牛を観察しているかがわかりますよ。

【初級】	牛の上あごに前歯は何本あるでしょうか。
【中級】	牛は横臥(横になること)するとき、お腹の右側を上にするでしょうか、左側を上にするでしょうか。
【上級】	餌の掃き寄せはどのようなタイミングで行うと効果的でしょうか。

Facebookのアカウントが無くても「普及みやぎ」の記事を読むことはできます。さらに、アカウント登録をして、「普及みやぎ」をフォローすれば、新着記事を知らせてくれますので便利です。

URLは下記の通りです。

<https://www.facebook.com/miyazakipref.einoshien.fukyu>



左のQRコードでスマホ用のページにアクセスできます。